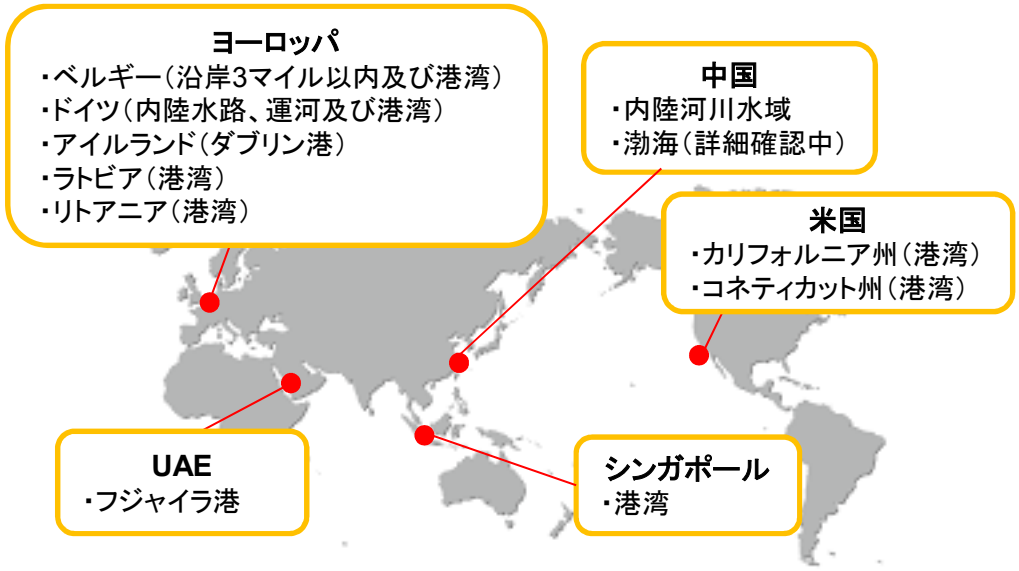
スクラバー排水に係る地域規制と我が国の対応

〇現在、一部の国の港等において、オープンスクラバーの使用禁止規制を導入する動きがあるが、排水による影響に関する科学的根拠は示されていない状況

〇日本は生物試験や成分分析、シミュレーションによるスクラバー排水の影響調査を行い、短期・長期的に**環境に影響を与える可能性は著しく低いと結論**。**スクラバー排水基準については、IMOで規定された国際基準に従って国内法令に取入れ済みであり、今後、国際基準に上乗せした規制を導入することはない（オープンスクラバーは禁止しない）との方針**

〇また、IMO、諸外国に対して上記調査結果を公表し、**科学的根拠のない規制導入の抑止を図る**

世界地域規制の現況



➢ 科学的な根拠が示されておらず、予防的に規制をしている模様

※中国は内陸河川水域及び河口域が汽水域であり、水質が中性に近いものであるため、酸性である排水による影響を懸念した対策と考えられる

IMOの汚染防止・対応小委員会において検証結果について発表（2019/2/19）

発表に対し、**多くの国や業界団体から議場内外で、謝意とともに日本の調査結果を参考にしたい等の問い合わせ**が相次ぎ、大きな関心を得た